

静岡大学 SUCCES の危機管理——

全学の統合クラウド化の最前線と評価 IV

～ 大災害時対応／安否確認／省電力・エコの進化の実際～

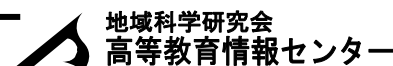
- ※ 東日本大震災～その時、情報インフラ・環境は／想定“内”・“外”のこと／中間総括と今後
- ※ 学生・教職員の安否確認システムと運用改善／危機管理体制／被災・被害状況の把握と発信
- ※ 静岡大学のクラウド情報基盤～コンセプト・構築プロセス・運用・評価／PRCC&PBCC
- ※ 原発大災後の省電力・エコキャンパスの進化／“見える・教える・抑える化”のシステム

● 講師 ●

長谷川孝博 氏 / (国) 静岡大学 情報基盤センター副センター長・准教授

■ 企画協力 静岡大学情報基盤センター

2011 年 4 月 28 日 (木) 剛堂会館ビル (明治薬科大学) 会議室 (東京・麹町)



日時: 2011 年 4 月 28 日 (木) 13:00~16:40
 会場: 剛堂会館ビル(明治薬科大学)会議室 (東京・麹町)
 千代田区紀尾井町 3-27 03-3234-7362
 アクセス: 東京メトロ有楽町線「麹町駅」1 番出口より徒歩4分、または JR 中央・総武線「四ツ谷駅」麹町口より徒歩 10 分
 ※会場の地図及び受講証を送付しますので必ずご確認ください。

参加費: A. ご一名(資料代込) 35,000 円(消費税込)
 B. メディア参加(資料・音声 CD 送付) 36,000 円(送料、消費税込)

※参加費の払い戻しは致しません。申込者のご都合が悪いときには、代理の方がご出席ください。

申込方法: 参加申込書に所要事項を記入のうえ、FAX または E-mail にてご送付ください。

支払方法: 銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。
 みずほ銀行麹町支店 普通 1159880
 三菱東京 UFJ 銀行神田支店 普通 5829767
 三井住友銀行麹町支店 普通 7411658
 郵便振替 00110-8-81660

口座名 (株) 地域科学研究会
※ご請求なき場合は振込受領書を領収書に代えさせていただきます。

申込先: 地域科学研究会・高等教育情報センター
 東京都千代田区一番町 6-4 ライオンズ第 2-106
 Tel : 03(3234)1231 / Fax : 03(3234)4993
 E-mail : kkj@chiikikagaku-k.co.jp
 HP : http://www.chiikikagaku-k.co.jp/

☆ FD・SD 及び BD 研修の本格化に伴い、2007 年から受講・修了証明書を発行しております。

キリトリ線(※参加申込みの折は必ずお送りください)

研修会参加申込書

高等教育活性化シリーズ 185 2011 年 4 月 日

全学の統合クラウド化の最前線と評価 IV

当日参加 メディア参加
(に 印を入れてください)

勤務先 _____

所在地 〒 _____

連絡部課・担当者名 _____

TEL _____ FAX _____

メールアドレス _____

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

〈通信欄〉支払方法 (郵便振替 当日払い 銀行振込) 必要書類 [請求書 見積書]

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講義項目
13:00 14:10	<p>1. 東日本大震災～その時、情報インフラ・環境は ～想定“内”のこと、想定“外”のこと～ 大規模震災における情報インフラの存続、BCP（事業継続計画）に基づく可及的速やかな各種情報サービスレベルの復旧は、大学組織、会社組織を問わず情報系センターの重要なミッションの一つである。本学では各種情報基盤のクラウド化をキーワードにこの数年間、各種対策を実施してきた。このたびの大震災において、本学は直撃こそ免れたもののクラウド情報基盤ならびにエコキャンパスの取り組みについて、否応なしの再評価の時を迎えた。学内外からは、本学のクラウド化情報基盤に再注目を頂き、その性能が十分に機能したのかとの質問を多く頂いている。本セミナーでは、震災直後のクラウド情報基盤の運用状況や分析を踏まえて、その真価と必要性について報告する。</p> <p>2. 静岡大学のクラウド情報基盤 (1) プライベートクラウドセンター（PRCC：PRivate Cloud Center） トップファイアウォールを含む基幹ネットワーク群および主要データベースサーバ群を2つの主要キャンパスの中間に位置する商用データセンターPRCCに完全移設した。本プロジェクト推進に向けた学内合意形成、仕様策定および構築コストの削減ポイントについて紹介する。また、PRCC稼働1カ年を経過した今でこそ実感できるPRCCの運用効果について、強化された監視・運用システムを交えた最新報告を行う。</p> <p>(2) アカデミックパブリッククラウドセンター（PBCC：PuBlic Cloud Center） 1) 全学クラウドサーバ展開の大方針を掲げ、学内教職員向けの商用クラウドサーバ借用サービスを開始した。全教職員は利用申請書を記入するだけで、一括調達したクラウドサーバ資源より切り出したLinux仮想サーバを無償利用（WindowsサーバにおいてもOS費用のみの受益者負担）できる。この度、利用者アンケートを実施し、PBCCサービス満足度を分析したので報告する。 2) 様々な商用クラウドサーバが世間を賑わせているが、いざ、学内利用を行おうとしたときに、真に大学運営に適したサービスを選択することは非常に難しい問題である。コスト、ネットワーク、ディスク、演算処理、拡張性など複数の性能を瞬時値ではなく、長期安定性能として見極めなければならない。静岡大学では、数十種類の商用クラウドサービスのパフォーマンスを毎時間かつ継続的にデータベースに集中管理記録するシステムを開発し、サービス選定基準として活用している。本システムの概要を紹介する。</p>
14:20 14:50	質疑応答とディスカッション
コーヒーブレイク	
15:00 16:10	<p>3. PBCCによる全学安否情報システム 米国設置の安価なクラウドサーバを利用して全学12,000名の安否システムを運用している。国内の大規模災害・計画停電においても、全く影響を受けない当システムは、大きな安定感と力を発揮することができる。実稼働した際の安否情報収集曲線、収集率向上のための運用ポイント、負荷分析、コスト分析、個人情報管理の手法および各種機能について詳解する。</p> <p>4. PRCCとPBCCによる全学エコキャンパスシステム (1) 見えるエコモニターシステム エコキャンパスへの取り組みは、大学運営の必須課題の一つである。静岡大学では総数800カ所以上の電力センサーをキャンパス各所に設置し、1分刻みの消費電力量をPRCCサーバ上に集約し、学内WEB配信している。最大4,300kWhの実時間電力消費量可視化システムは、全国最大規模のエコキャンパスシステムの一つである。システム概要と導入効果について説明する。 (2) 教えるパンドラシステム 各キャンパスの電力消費総量が契約電力の90%に到達したら、携帯メールへ警報を通知する。学生、教職員が自由に登録、変更、削除できるフリーメンテナンスのシステムである。月額450円のクラウドサーバ1台のみで稼働しており、システム自体のエコ化も実現している。システム概要と導入効果について説明する。 (3) 抑える自動制御システム 学内の複数のエアコン室外機を直接的にプログラム制御して、消費電力量のピークカットを行うシステムを開発中である。消費電力が契約電力量に差し迫った緊急事態を自動検出し、利用者の不快感を最小限に抑えながら効果的なキャンパス電力制御を行うことを目的としている。システムの開発計画の概要について説明する。</p> <p>5. ISMS（ISO27001）の認証継続 静岡大学情報基盤センターでは、2003年末から8年間にわたり情報セキュリティマネジメントシステムのISO規格の認証継続と運用を行っている。当センターのISMSは、クラウド情報基盤という確かな成果を出力することが出来た。わずか十数名の小組織で、情報基盤サービスに関わる大量の業務を運用しながら、ISO規格の認証継続を可能とした規格運用手法について紹介する。</p>
16:10 16:40	質疑応答とディスカッション